

## 平成21年9月期 第3四半期決算短信

平成21年7月30日

上場会社名 株式会社 ネクシーズ

コード番号 4346 URL <http://www.nexyz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 近藤 太香巳

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長

(氏名) 松井 康弘

TEL 03-5459-7444

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年9月期第3四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第3四半期	4,814	—	△163	—	△190	—	△533	—
20年9月期第3四半期	4,357	△3.2	△347	—	△379	—	△631	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第3四半期	△429.96	—
20年9月期第3四半期	△505.08	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年9月期第3四半期	7,477	4,854	31.0	1,843.82
20年9月期	9,983	5,533	30.3	2,474.12

(参考) 自己資本 21年9月期第3四半期 2,314百万円 20年9月期 3,026百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月期	—	0.00	—	125.00	125.00
21年9月期	—	60.00	—		
21年9月期 (予想)				65.00	125.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	11.8	△240	—	△280	—	△500	—	△398.34

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年9月期第3四半期 1,341,364株 20年9月期 1,341,364株

② 期末自己株式数 21年9月期第3四半期 86,148株 20年9月期 118,247株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年9月期第3四半期 1,239,899株 20年9月期第3四半期 1,250,037株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

3. 1株当たり(予想)当期純利益につきましては、将来の自己株式数の減少を期中平均株式数に反映させることが困難なため、以下の方法で算出しております。

<1株当たり(予想)当期純利益>

普通株式に係る予想当期純利益÷(期末発行済株式数－自己株式数)

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、米国の金融不安に端を発した世界的な金融危機が実体経済へと波及し、景気の後退局面を迎えております。企業業績は悪化し、設備投資や個人消費などの内需も減少傾向が続きました。GDPの伸び率は、08年1月～09年3月に3.8%減となりました。消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、前年同月比△1.1%～1.9%の間で推移し、3月以降は3ヶ月連続のマイナスとなり、デフレへの懸念が強まってまいりました。

このような状況の下、当社グループでは各連結子会社の事業を成長、発展させて収益源を多角化すると同時に、自社サービスの比重を高めることで、収益力の強化に努めております。当社グループでは、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」や旅行ウェブマガジン「旅色」の拡充に注力しているほか、平成21年4月10日に株式会社ハクビ（旧商号：株式会社全国教育産業協会）を子会社化し、新たに、きもの着付け教室等の運営、呉服・和装小物等の販売が当社グループの事業に加わりました。また、各種費用の見直しを随時行い、グループ全体で業務の効率化と経費削減に努めております。

これらの結果、売上高4,814百万円（前年同四半期比10.5%増）、営業損失163百万円（前年同四半期営業損失347百万円）、経常損失190百万円（前年同四半期経常損失379百万円）となり、四半期純損失は533百万円（前年同四半期純損失631百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間における事業の種類別セグメント情報の概況は次のとおりです。

[ブロードバンド事業]

ブロードバンド事業では、個人向けインターネット接続サービス「Nexyz.BB」を提供しております。「Nexyz.BB」は、説明型テレマーケティングによる営業の強みを活かしてインターネット初心者へのサポートの充実や、キャンペーンの併用による割安なインターネット料金の提案を行うことで、会員が堅調に増加いたしました。「Nexyz.BB」会員から得られる毎月の月額利用料金収入は、サービス提供に伴う運営費用を上回る収入となっております。しかしながら、収益の拡大には会員数の更なる増大が必要であるため、引き続き営業に係る人件費や電話代などの費用も発生しております。また、4月から営業未経験者を中心とした新卒の社員を増員しているため、当第3四半期連結会計期間においては、収支が悪化しております。

これらの結果、ブロードバンド事業は、売上高2,431百万円、営業損失83百万円となりました。

[ソリューションサービス事業]

ソリューションサービス事業は、主に製品・サービスの販売促進を行っております。

旅行ウェブマガジン「旅色」では、5月に広告クライアントとなる旅館やホテル等をさらに充実させた夏号を発刊したほか、6月に楽天トラベル株式会社との共同企画である「旅色LuxuryStays」のVol.3を発刊いたしました。

そのほか、営業の拠点を札幌や広島へ拡大し、グループ内で法人営業の経験がある人員を中心に「旅色」の広告営業に移行して人員体制を強化しております。これにより新規の広告クライアントが増加したほか、既存の広告クライアントの年間契約の更新も加わり、契約数は着実に増加傾向にあります。人件費や交通費等の営業に係る費用が先行しております。

金融商品仲介業務、業務用食品卸業支援においては、取引数、取引高が底堅く推移いたしました。また、過年度に営業を行っていた情報通信サービスのキャリアから継続して得られる手数料収入も、利用者の解約に伴う自然減はあるものの安定して得ることができました。

保険代理店業務では、6月に開始した新たな保険商品が顧客のニーズを捉えて契約数が大きく増加しておりますが、依然として厳しい状況が続いております。

これらの結果、ソリューションサービス事業では、売上高1,855百万円、営業利益282百万円となりました。

[文化教育事業]

文化教育事業では、きもの着付け、くみひも、ちぎり絵等の教室運営、呉服や和装小物等の販売を行っております。同事業は、平成21年4月10日に株式会社ハクビの株式を取得し、子会社化したことで、当第3四半期会計期間より新たに当社グループに加わった事業であります。

教室運営では、月謝やオプション講座の受講料、免許発行料による安定的な収入がありました。また、着付け資格の取得者の発表の場として浅草で「きものフューチャー2009」を開催いたしました。

呉服等の販売では、展示会や教室を通じて主に夏物のきもの等の販売を行いました。販売高は若干減少いたしました。経費削減に取り組んだことで販売高の減少を補うことができました。

これらの結果、文化教育事業では、売上高602百万円、営業損失6百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は7,477百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,505百万円の減少となりました。

流動資産は4,313百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,534百万円の減少となりました。これは主に株式会社ハクビの株式を取得したことや、社債の償還、短期借入金の返済、配当金の支払い等により現金及び預金が2,848百万円減少した一方で、株式会社ハクビを子会社化したことにより受取手形及び売掛金が115百万円、「Nexyz.BB」会員の増加により未収入金が110百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は3,163百万円となり、前連結会計年度末に比べて28百万円の増加となりました。これは主に、電話設備等の使用しなくなった固定資産を除却したことにより工具、器具及び備品が140百万円減少した一方で、株式会社ハクビを子会社化したことにより敷金及び保証金が169百万円増加したこと等によるものであります。

流動負債は2,484百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,679百万円の減少となりました。これは主に短期借入金が返済により1,500百万円、1年内償還予定の社債が償還により500百万円それぞれ減少した一方で、株式会社ハクビを子会社化したことにより、預り金が123百万円、前受金が92百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は139百万円となり、前連結会計年度末に比べて146百万円の減少となりました。これは株式会社ハクビを子会社化したことにより長期未払金が37百万円、預り保証金が53百万円増加した一方で、1年内償還予定の社債に組み替えたことにより社債が240百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は4,854百万円となり、前連結会計年度末比679百万円の減少となりました。その主な内訳は、第3四半期純損失を533百万円計上したことや期末、中間の配当を行ったこと、中間法人ネクシィーズ従業員持株事業体が保有する当社株式をネクシィーズ従業員持株会に譲渡した際に、自己株式処分差額が発生したことにより、利益剰余金が1,030百万円減少した一方で、同譲渡により自己株式が331百万円減少したことによるものであります。

以上により流動比率は173.6%となり前連結会計年度末比9.2ポイント上昇いたしました。株主資本比率は、31.0%となり前連結会計年度末比0.7ポイント上昇いたしました。時価ベースの株主資本比率は61.1%となり前連結会計年度末比28.4ポイントの上昇となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は2,371百万円となり、前連結会計年度末残高5,087百万円と比較して、2,716百万円の減少となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は153百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失586百万円、解約調整引当金の増減額の減少52百万円、法人税等の支払額90百万円を計上した一方で、非現金支出項目として減価償却費211百万円、のれんの減損損失238百万円、固定資産除却損118百万円等を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は156百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出245百万円、子会社株式の取得による支出164百万円、投資有価証券の取得による支出57百万円、有形固定資産の取得による支出41百万円があった一方で、定期預金の払戻による収入378百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は2,406百万円となりました。これは主に、借入金の返済にともなう短期借入金の純減額1,500百万円、社債の償還による支出740百万円、配当金の支払額225百万円等が発生したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の見通しについて、ブロードバンド事業では、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の会員数が概ね順調に増加しており、今後も引き続き会員数の増大に注力してまいります。

ソリューションサービス事業では、旅行ウェブマガジン「旅色」の広告クライアントを増やすため営業を強化しており、引き続き人件費や交通費等の先行費用が発生いたします。金融商品仲介業務、業務用食品卸業支援、情報通信サービスのキャリアから得られる継続的な手数料収入については、今後の市況の変化等による影響はあるものの、安定して収益が見込めるものと予想されます。

保険代理店業務においては、6月に開始した新たな保険商品の契約数が好調でありましたが、一方でアリコジャパンにおける個人情報漏洩の発覚による影響が懸念される等、今後も不透明な状況が続く見込みであります。

文化教育事業では、きもの着付け教室等の運営、呉服・和装小物等の販売においては、月謝やオプション講座の受講料、免許発行料による安定した収入と季節や時期に応じたイベントや展示会を通じて、着物の販売による収入が見込まれます。今後、当社グループでは企画力や営業力を活かして株式会社ハクビとのシナジー効果を創出するべく様々な取り組みを行う予定であります。当連結会計年度における利益項目への影響は軽微であると思われま。

なお、平成21年9月期通期の連結業績予想につきましては、平成21年4月30日に公表いたしました連結業績予想数値に変更はございません。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 棚卸資産の評価に関する会計基準

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、棚卸資産の評価基準については、原価法から原価法(貸借対照表額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法)により算定しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

- (5) リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,617,492	5,465,987
受取手形及び売掛金	864,097	748,978
商品	140,510	471
未収入金	530,031	419,779
その他	199,031	227,417
貸倒引当金	△37,367	△14,715
流動資産合計	4,313,795	6,847,918
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	393,262	533,273
その他(純額)	278,273	254,167
有形固定資産合計	671,536	787,440
無形固定資産		
のれん	216,981	272,963
その他	178,156	246,195
無形固定資産合計	395,138	519,158
投資その他の資産		
投資有価証券	964,544	975,958
敷金及び保証金	601,626	431,831
繰延税金資産	298,075	199,919
その他	306,094	228,270
貸倒引当金	△73,193	△7,148
投資その他の資産合計	2,097,146	1,828,832
固定資産合計	3,163,821	3,135,431
資産合計	7,477,616	9,983,349
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	313,425	257,071
短期借入金	491,934	1,991,934
1年内償還予定の社債	240,000	740,000
未払金	693,423	619,896
未払法人税等	35,680	89,644
解約調整引当金	285,767	338,553
その他	424,145	127,123
流動負債合計	2,484,376	4,164,222
固定負債		
社債	40,000	280,000
その他	99,010	5,539
固定負債合計	139,010	285,539
負債合計	2,623,386	4,449,762

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,653,660	4,653,660
資本剰余金	4,439,468	4,439,468
利益剰余金	△6,296,768	△5,266,665
自己株式	△469,230	△800,331
株主資本合計	2,327,130	3,026,132
少数株主持分	2,539,834	2,507,455
その他有価証券評価差額金	△12,735	—
純資産合計	4,854,230	5,533,587
負債純資産合計	7,477,616	9,983,349



(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)
売上高	4,814,871
売上原価	2,697,672
売上総利益	2,117,198
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	507,483
賃借料	536,712
減価償却費	158,287
その他	1,077,832
販売費及び一般管理費合計	2,280,314
営業損失(△)	△163,116
営業外収益	
受取利息	3,796
その他	11,872
営業外収益合計	15,668
営業外費用	
支払利息	15,098
投資事業組合運用損	25,379
その他	2,081
営業外費用合計	42,559
経常損失(△)	△190,006
特別利益	
特別利益合計	—
特別損失	
固定資産除却損	118,484
減損損失	238,376
その他	39,461
特別損失合計	396,322
税金等調整前四半期純損失(△)	△586,329
法人税、住民税及び事業税	40,732
法人税等調整額	△48,889
法人税等合計	△8,157
少数株主損失(△)	△45,064
四半期純損失(△)	△533,107

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,974,325
売上原価	1,155,823
売上総利益	818,501
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	205,408
賃借料	192,657
減価償却費	54,578
その他	451,801
販売費及び一般管理費合計	904,445
営業損失(△)	△85,943
営業外収益	
受取利息	505
受取配当金	2,235
仕入割引	1,684
その他	2,392
営業外収益合計	6,817
営業外費用	
支払利息	3,984
その他	345
営業外費用合計	4,329
経常損失(△)	△83,455
特別利益	
特別利益合計	—
特別損失	
固定資産除却損	24,324
事業整理損	21,740
投資有価証券評価損	6,325
特別損失合計	52,390
税金等調整前四半期純損失(△)	△135,846
法人税、住民税及び事業税	17,639
法人税等調整額	△12,733
法人税等合計	4,905
少数株主損失(△)	△3,830
四半期純損失(△)	△136,922

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成20年10月1日  
至平成21年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△586,329
減価償却費	211,965
減損損失	238,376
のれん償却額	21,822
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,105
解約調整引当金の増減額(△は減少)	△52,786
受取利息及び受取配当金	△6,031
支払利息	15,098
投資事業組合運用損益(△は益)	25,379
投資有価証券評価損益(△は益)	17,720
固定資産除却損	118,484
事業整理損失	21,740
売上債権の増減額(△は増加)	16
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,745
仕入債務の増減額(△は減少)	28,793
未払消費税等の増減額(△は減少)	△36,239
その他	△73,960
小計	△53,589
利息及び配当金の受取額	6,984
利息の支払額	△16,164
法人税等の支払額	△90,521
営業活動によるキャッシュ・フロー	△153,290
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	378,020
定期預金の預入による支出	△245,967
子会社株式の取得による支出	△164,886
出資金の分配による収入	13,058
投資有価証券の取得による支出	△57,480
有形固定資産の取得による支出	△41,761
無形固定資産の取得による支出	△18,656
長期前払費用の取得による支出	△5,989
その他の支出	△12,830
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156,492
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,500,000
社債の償還による支出	△740,000
リース債務の返済による支出	△509
配当金の支払額	△225,860
自己株式の処分による収入	59,710
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,406,659
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,716,441
現金及び現金同等物の期首残高	5,087,967
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,371,525

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)

	ブロード バンド 事業 (千円)	ソリューショ ンサービス 事業 (千円)	文化教育 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,425,202	1,786,747	602,921	4,814,871	—	4,814,871
(2) セグメント間の 内部売上高	6,751	68,855	—	75,606	△75,606	—
計	2,431,953	1,855,602	602,921	4,890,478	△75,606	4,814,871
営業費用	2,515,793	1,572,755	609,326	4,697,875	280,111	4,977,987
営業利益又は 営業損失(△)	△83,840	282,847	△6,404	192,602	△355,718	△163,116

- (注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。  
2. 各区分の主な内容

事業セグメント名	主な事業の内容	主要な事業会社
ブロードバンド事業	インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供、加入希望者の獲得、附帯するサービスの提供	㈱Nexyz.BB ㈱ネクシィーズ・コミュニケーションズ
ソリューションサービス事業	製品・サービスの販売促進、ノウハウや技術の提供、コンサルティング業務	㈱ネクシィーズ アイデアキューブ㈱ ㈱ネクシィーズ・トレード ㈱ソニア・パートナーズ ㈱ユーシーシー・ネクシィーズ ㈱ブランジスタ ㈱Nexyz.VP
文化教育事業	きもの着付け、くみひも、ちぎり絵等の教室運営、呉服や和装小物等の販売	㈱ハクビ ㈱美楽衣

3. 事業区分の変更

事業区分は、従来「情報通信技術を利用した各種サービス事業」の単一セグメントでありました。

しかしながら、当第3四半期連結会計期間に、きもの着付教室等の運営、呉服・和装小物等の販売を行う株式会社ハクビが新たに連結子会社となったことにより、事業区分の追加が必要となりました。

また、当社グループで先行投資を行ってきたインターネット接続サービス「Nexyz.BB」の会員の増加とともに事業規模が拡大し、重要性を増してまいりました。

これら新たな事業への参入と、特定の既存サービスが重要性を増していることから、当社グループ各社の事業内容をより適切に表示するため、当第3四半期連結会計期間より事業の種類別セグメントを上記3区分にいたしました。

4. 文化教育事業の各項目は、株式会社ハクビとその子会社である株式会社美楽衣を子会社化したことにより、当第3四半期連結会計期間からの実績を記載しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)

当社グループは本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)

当社グループは海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

① (要約)前年同四半期連結損益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年10月1日 至平成20年6月30日)
区分	金額(千円)
I 売上高	4,357,702
II 売上原価	2,527,833
売上総利益	1,829,869
III 販売費及び一般管理費	
1. 給料手当	429,537
2. 減価償却費	214,017
3. 賃借料	527,760
4. その他	1,005,763
販管費及び一般管理費合計	2,177,079
営業損失(△)	△ 347,210
IV 営業外収益	
1. 受取利息	4,090
2. 消費税等差額	12,468
3. その他	4,371
営業外収益合計	20,930
V 営業外費用	
1. 支払利息	34,348
2. 投資事業組合損失	13,741
3. その他	5,449
営業外費用合計	53,539
経常損失(△)	△ 379,819
VI 特別利益	
1. 貸倒引当金戻入益	228
2. 過年度継続収入	60,793
3. その他	3,459
特別利益合計	64,480
VII 特別損失	
1. リース解約損失	38,121
2. 事業整理損	13,929
3. その他	16,527
特別損失合計	68,579
税金等調整前四半期純損失 (△)	△ 383,917
法人税、住民税及び事業税	50,739
法人税等調整額	252,109
少数株主損失	△ 55,400
四半期純損失(△)	△ 631,366

② (要約)前年同四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年6月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1. 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 383,917
2. 減価償却費	283,545
3. のれん償却額	24,236
4. 貸倒引当金の増減額(△減少額)	8,866
5. 解約調整引当金の増減額(△減少額)	23,981
6. 受取利息及び受取配当金	△ 4,090
7. 支払利息	34,349
8. 投資事業組合損失(△利益)	13,741
9. 売上債権の増減額(△増加額)	△ 8,399
10. たな卸資産の増減額(△増加額)	27,849
11. 仕入債務の増減額(△減少額)	54,833
12. 未払消費税等の増減額(△減少額)	61,629
13. その他資産・負債の増減額	△ 142,733
14. その他	21,976
小計	15,869
15. 利息及び配当金の受取額	3,815
16. 利息の支払額	△ 35,927
17. 法人税等の支払額	△ 105,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 122,195
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1. 定期預金の解約による収入	420,000
2. 定期預金の預入による支出	△ 378,020
3. 出資証券の取得による支出	△ 225,000
4. 出資払戻し金及び分配による収入	27,820
5. 有形固定資産の取得による支出	△ 115,733
6. 無形固定資産の取得による支出	△ 27,378
7. その他の投資による支出	△ 13,540
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 311,852
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. 短期借入金の純増減額(△減少額)	△ 882,000
2. 社債の償還による支出	△ 240,000
3. 少数株主からの払込による収入	279,440
4. リース債務の支払いによる支出	△ 92
5. 配当金の支払額	△ 156,414
6. 自己株式の取得による支出	△ 311,598
7. 自己株式の処分による収入	58,663
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,252,000
IV 現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	△ 1,686,048
V 現金及び現金同等物の期首残高	5,892,409
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	4,206,361